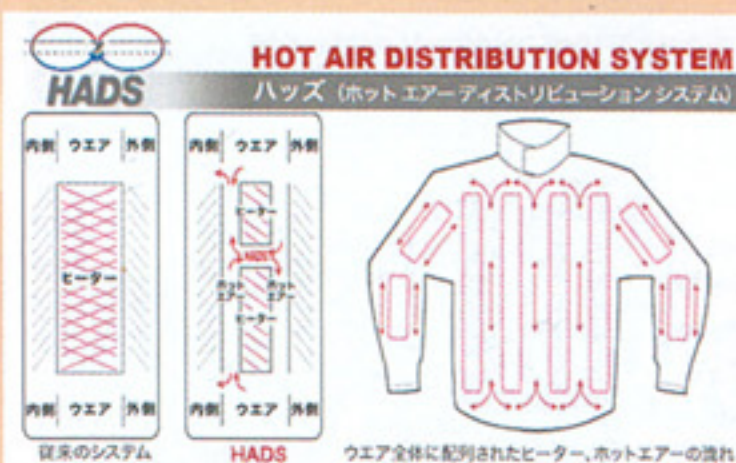


KLAN

イタリアの電熱ウェアメーカーであるクラランは、'08年から独自機構の“HADS”を採用。優しい暖かさがライダーを包み込んでくれる。



↑一般的な電熱ウェアは発熱体で直に体を暖めるのに対し、クラランのHADSは電熱線の周囲に部屋分けされた空間を設け、その中で暖かい空気を循環させる点が大きな違いだ。暖められた空気がメッシュの裏地を通じて内側にも送られる。

消費電力
50W

KLAN
ホットインナー
ジャケット
●価格:2万3940円



●サイズ:S、M、L、XL、2XL、3XL、4XL
●色:黒

TOUCH & TRY



KLAN
ホットインナー
パンツ
●価格:1万8690円

←SとLサイズはすでに今期分完売という人気商品。前側のグレーの部分は薄手のネオプレーンであり、冷気の侵入を効果的にシャットアウトすることで暖かさをキープ。

●サイズ:S、M、L、XL、2XL、3XL、4XL
●色:灰

消費電力
45W消費電力
15W

KLAN
ツーリング
グローブ
●価格:1万6590円

←5本の指すべての先端にまで電熱線をレイアウトしたグローブ。左の人差し指にはスマホ操作用のTSCを採用。薄手のライクラで作られたインナーグローブ(1万3440円)もラインナップする。

●サイズ:S、M、L、XL
●色:黒

KLAN
ライクラインナーソックス ●価格:1万3440円

消費電力
18W

←甲部および前側の全面とつま先にまで電熱線を配したロング丈のインナーソックス。暖かい空気が逃げないように履き口にはベルクロベルトを設ける。

●サイズ:26.0~28.0cm
●色:黒



↑革パンの冷えに熱量が追い付かなかったか、数値はやや低めに。アウターの選択次第で好転も。



↑大健闘したツーリンググローブ。暖められた空気が逃げにくく、指先をはじめ全体がホットに。



→今回テストした商品でHADSを採用するのはこのジャケットのみ。腕を含む上半身全体がほんわかと暖かくなる印象だ。

空間を暖めるHADSを採用

バリエーション豊富で
拡張性にも優れている

極寒地の作業用ウェアで培ったノウハウをバイク向けにアレンジするイタリアのクララン。HADS(ホットエア-ディストリビューションシステム)と名付けられた独自機構をインナージャケットやベストに採用したのは'08年のこと。以来、真冬でも走るツーリングライダーから幅広く支持され、現在に至っている。

試したのは、そのインナージャケットとインナーパンツ、ツーリンググローブの3点。フィット感で特に気に入ったのはパンツだ。適度な立体裁断に加えてネオプレーンの生地が伸縮性に優れるので、重ね着特有の動きにくさがほとんどない。またグローブも、ややモコモコ系ではあるものの全体的に柔軟なので、操作性について特に不満はなかった。

電熱による効果は、ジャケットとパンツは数値的にも体感的にも若干低かったものの、これは組み合わせたアウターの影響が大きいと思われる。というのも、以前同じ商品をテストした時は、別売りのレギュレーターで少し温度を下げたいと思ったほどだからだ。なお、グローブに関しては当日の低い気温の中でも十分以上の効果を実感。しかも電熱での価格はお買い得と断言できる。